

ピアホームだより

2012.10.10

9月のイベント

カラオケを楽しむ

9月29日土曜日、ピアホームで久方ぶりのカラオケ大会を開催しました。前回の板橋区の花火大会で盛り上がり、今度はカラオケへって気持ちの高ぶりを受けた企画です。ピアホームⅡの中井さんもうつ状態から抜けきれず、カラオケに行きたいとリクエストがありました。先日面談し、やはり少しでも気晴らしをしていくのが良いじゃないかと確認したところでした。

さて、当日は職員2人のほか、ボランティアの江本さん、赤尾さん(遠くからありがとう)、ピアホームⅠ3人、ピアホームⅡ2人の9名という大所帯で、高島平BanBanの一番広いお部屋を確保し、カラオケ開始。恥ずかしいから最初に歌わないと言っていた

市六さんが先陣を切って歌いました。様々な年代が集まると、歌の選曲もそれぞれ。中井さんは、美空ひばり、小椋啓、中島みゆきと60歳を超えた私などが名曲と思う選曲でした。デイケアでいつも歌ってる細谷さんもカラオケ慣れし、幅広い年代に分りやすい選曲でした。赤尾さん上田さんは自分の時代を手堅く歌い、江本さんはビートルズや椎名林檎と彼らしい選曲、尻込みしていた西山さんもTokioを歌ってくれました。非常勤大高さんは、大好きな桑田を目一杯歌い、場を大いに盛り上げてくれました。皆さん、楽しめたでしょうか？翌週月曜日、ピアⅠで反省会。市六さんは、一人カラオケで鍛えていて、皆が歌った歌を良く覚えていて、解説してくれました。

新しいボランティア、近藤さんをご紹介します。

ご自身がパニック障害の経験もあり、とっても優しい方です。札幌から単身上京し、10云年の女性です。ピアホームと言う穏やかな空間？を気に入って下さっています。お話を聞いていると、大都会での女性一人暮らしの厳

しさも伝わって来ます。ピアホームが少しでも安らぎの場となり、活力を得てそこから羽ばたいて行ってほしいですね。

松井さん卒業

ピアホームⅠの唯一の女性入居者だった松井さんが、9月いっぱい卒業になりました。

色んな事情があって、やや早めの卒業となりましたが、この間、パニックの症状も和らぎ、料理の腕も挙げ、朝早くから、ひとりで起きて休むことなく作業所に通いました。就労への意欲も高く、当所にいる間にも、チャレンジ就労に挑戦し、自信をつけています。精神障害者とは違った力強い面を見せてくれ、当所の利用者の気持ちを鼓舞してくれてたように思います。

ピアホームをステップにして、更に一歩進めて行ってもらいたいと願っています。

10月の行事

<10月13日>病地学会

<10月15日>症例検討会(白石先生)

<10月20日>スポーツ教室